

## 令和 4 年度 三島市行政改革市民懇話会 会議録

- 1 日 時 令和 5 年 2 月 6 日（月） 午前 10 時 00 分から午前 11 時 00 分
- 2 場 所 市役所大社町別館 防災研修室
- 3 出席者 飯塚委員、石渡委員、稲田委員（座長）、大槻委員、佐野委員、中村委員  
野寺委員、堀池委員、渡邊委員（計 9 名）
- 4 欠席者 石田委員、宍戸委員
- 5 事務局 島政策企画課長、齊藤主幹、小松主事
- 6 関係課 企画戦略部長、企画戦略部参事（広報情報課長扱）※、広聴文書課長、人事課長  
財政課長、公共財産保全課長  
※参事欠席のため広報情報課長補佐（デジタル戦略室長扱）代理出席

7 会議の公開・非公開の別 公開

8 傍聴人 0 人

9 会議の内容

事務局より開会前に配布資料の確認を実施

- (1) 開 会
- (2) 新委員へ依頼状交付
- (3) 市長挨拶
- (4) 出席者自己紹介 ※新任委員のみ
- (5) 会議の公開について

傍聴希望者は無い旨を報告

(6) 議事進行

報 告

ア 行政改革推進プランの進捗状況について

- (a) 事務局から進捗状況説明・報告
- (b) 質疑応答

〔 委 員 〕 Q1

個別取組項目の 8 番「時間外勤務の縮減」について、取組概要では幼稚園にタイムレコーダーを 4 台設置することとなっているが、これは昨今の保育士等の労働に対する負荷が高いのではないかと、ということが一つの要因として設置されるという理解でよいか。

【 三 島 市 】 A1

ご指摘の観点も一因である。現状幼稚園については紙媒体の出勤簿による勤怠管理を行っている。委員のご指摘のようにタイムカードを導入することで、職員の就業状況、勤務時間の適正な把握に努めるため、令和 4 年度には 4 台のタイムレコーダーを設置したところである。

〔 委 員 〕 Q2

（上記の質問について）令和 5 年度には 2 台設置とされているが、これは各幼稚園に 2 台設置ということではなく、令和 4 年度と合わせて合計で 6 台設置され、それにより市内の

すべての幼稚園に1台ずつ設置されるという理解でよいか。

**【 三 島 市 】 A2**

お見込のとおり。

**[ 委 員 ] Q3,4,5**

5番「キャッシュレス決済の導入」について、キャッシュレス決済には様々な会社があるが全てのキャッシュレス会社と契約するのか、それとも特定のキャッシュレスのみか。

次に9番「職員のテレワーク実施」について、現在合計11名ということだが、行政サービスは1対1の業務が多い中で、どの程度の人数がテレワークを実施することが適正なのか、という指標があれば教えてほしい。

次に15番「市外からの移住促進」について、以前三島市は県内で一番移住者数が多いと聞いていたが、その数字は何の数字で、この17人はどのように集計されたものか。

**【 三 島 市 】 A3**

キャッシュレス決済はクレジット、QRコードなど、様々なものがある。それぞれのキャッシュレス会社と契約することは事務負担が大きいため、中間事業者を入れたうえで、幅広いものに対応したいと考えている。

**【 三 島 市 】 A4**

テレワークについて、指標といえるものは現在ない。また、現状でどの程度の人数が適正なのか、把握できていない。令和3年度からテレワークを試行する中で、適正な人数についても把握していきたいと考えている。

**【 三 島 市 】 A5**

三島市は令和3年度の移住者数が171人となり、県内で一番多かった。この171人については、移住相談による移住者数に加えて、首都圏からの移住者に対し交付している補助金の件数が含まれている。実際に市の職員が努力している取組としては相談件数となることから、単純に移住相談を通じて移住された人数を今回は指標としている。

**[ 委 員 ] Q6**

各個票には取組が重なる部分がかかなりあり、連携をとらないといけないという感じを受ける。例えば2番「行政手続きのデジタル化」について、課題としては自動的に基幹業務に反映する仕組みができていないということだが、1番「自治体情報システムの標準化・共通化」では令和7年度を目標に移行していくこととなっている。これらがすぐに繋がるとは考えられないが、そういった連携ができるのか大きな疑問がある。

また、3番「AIやRPAの導入」について、シナリオを作成できる人材が限られていることが課題となっている一方で、9番「職員研修計画に基づく研修の実施」では理解が深まった、とされている。評価と課題を見ていくと本当に評価が“○”でよいのか疑問。

**【 三 島 市 】 A6**

1番「自治体情報システムの標準化・共通化」については、国の主導により、全国統一のシステムに令和7年度までに移行することが定められたものである。今は新システムへの過渡期であるため、今の標準化されていない状態で新たな機能を搭載することは、費用面で問題があることから、令和7年度の標準化後に電子申請から自動的に反映する機能を搭載

したいと考えている。

また、職員研修とRPAのシナリオの書ける人材の育成については、人事課と調整していきたいと考えているが、シナリオ作成は高度な技術が必要であり、人事課による職員研修とは趣旨が異なるもとと考えている。

**【 三 島 市 】 A6**

来年度以降、庁内で調整しつつ職員全体でDXの意識が高められるような研修も実施したいと考えている。一方で、人事課で実施する研修は専門性を高めるというよりも、幅広く職員に必要な内容を実施していることをご理解いただきたい。

**〔 委 員 〕 Q7**

DXの推進することで、市の職員がどの程度削減できるのか、目標数値的なものを出してもらいたい。

**【 三 島 市 】 A7**

現状で、DXの推進により削減できる職員数をお示しすることは難しいが、状況が変わっていく中で引き続き必要な部署に必要な人数を配置していきたい。今後DXの推進や新庁舎建設に当たって、どの程度が適正な人数かは検討したい。

**〔 委 員 〕 Q8**

主担当課について、1番から5番が広報情報課となっているが、本来であれば経営管理課とか企画課といった部署が担当ではないのか。また、カスタマイズされたシステムに合わせるとなると、部署の再編も必要になってくると思うがどうか。

**【 三 島 市 】 A8**

広報情報課は広報係と情報部門があり、情報部門の中にデジタル戦略室が存在し、この室において庁内のDX等について検討している。

また、システムの標準化に合わせての組織改編については、組織改編よりもまずは標準化されるシステムに合わせて自らの業務を変えて、改革していく検討が必要であり、現在各課が対応しているところである。

**〔 委 員 〕 Q9**

キャッシュレス決済について、手数料は市の負担か。また、他自治体では固定資産税の決済にキャッシュレスを導入しているようなので、他市町の状況などを調べて実施された方がいいのではないか。

**【 三 島 市 】 A9**

キャッシュレスには、窓口での支払いに使うキャッシュレスや、納税の際に納付書に記載されたバーコードを読み取ることでキャッシュレスにより支払うなどがある。今回三島市では窓口での支払料金のキャッシュレス化を来年度実施予定であり、これらについては市が手数料を負担する予定である。およそ3%程度と聞いている。

一方固定資産税などの支払いについては、支払金額が大きく、それに伴い手数料も高額となることから、現在クレジット決済の手数料は本人負担としている。

**〔 委 員 〕 意見1**

手数料は3%とのことだが、海外では1%程度と聞いている。三島市だけで対応できるこ

とではないかもしれないが、ぜひ様々な意見を集めてコストを抑えることができるよう努力していただきたい。

**〔 委 員 〕 Q10**

計画全体になるが、昨今のコロナウイルス感染症の影響を踏まえて策定されていると思う。一方で令和7年度には、策定当時は課題があったけれど、今は社会的にも影響がなくなり、目標が達成できなくなることも十分考えられる。各取組については政府の指針等に応じて、若干変更するなど柔軟に考えたほうが良いと思う。

**【 三 島 市 】 A10**

ご指摘のとおり、社会情勢によって状況が大きく変わる可能性はあるため、十分注意しながら取り組みを考えていく。

**〔 委 員 〕 Q11**

移住について、実際に三島市に移住してこられた方はどんな年代なのか。また移住後ずっと三島に住んでいただけているのか。

**【 三 島 市 】 A11**

現在は30代、40代の子育て世代が中心である。定着率については、補助金を活用した方には5年間は定住するよう宣誓書を提出していただいている。また、家屋の購入により定住も進むと考えられることから、市によるマイホーム購入に係る補助金にも誘導しつつ定着を図りたいと考えている。

**〔 委 員 〕 Q12**

各町内等で自治会館などをインターネットで予約できるような取り組みを進めているところもある。このような取り組みが進めば各町内の人が自治会館などを利用しやすくなることから、自治会関係の人も巻き込みながらデジタル化を進めてほしい。

**【 三 島 市 】 A12**

デジタル化による利便性向上においては、市役所の業務のみならず地域のデジタル化も支援していきたいと考えている。自治会については窓口である地域協働・安全課とも調整しつつ、何ができるか検討していきたい。

**(7)企画戦略部長あいさつ**

**10 閉 会**